



インドネシアで学ぶ  
インドネシア語とインドネシア文化

*Program Matahari 2012*



新光オーエムシー株式会社

## 趣 旨

世界経済において、かつては「南北問題」という枠組の中で「北」の先進地域に対して、「後進」「停滞」の代名詞「南」の典型的な地域として位置付けられていたアジアが80年代に急速な成長・発展を遂げ、特に東アジアは世界の成長センターとして世界中の注目を集めました。またその反動として90年代終わりにアジアを襲った経済危機が「アジア発の世界経済混乱」をもたらしたように、アジア経済の世界における影響力は圧倒的に高まっております。これまで、欧米に偏ってきたわが国の対外関係においても、今後は経済を中心として社会・文化、その他あらゆる分野でアジアの比重は益々重要性を増して参りましょう。近年特に若い世代を中心に高まっているアジアの言語および文化への関心からも、このような時代の流れを痛切に感じます。

当社は、1987年に新光監査法人（のちの中央青山監査法人）と新光経営サービス株式会社を主たる株主として設立されたコンサルティング会社であり、日本のODA（政府開発援助）のもとで、アジア・アフリカを中心とする開発途上国の政府に対するマネジメント・コンサルティングを通じて、それらの国々の開発支援を専門業務としている、わが国では数少ない開発経営コンサルティング企業です。その一環としてのインドネシアと日本との友好関係の促進も当社の重要な目的の一つです。

「インドネシアで学ぶインドネシア語とインドネシア文化」コースは、以上のような背景のもとに、インドネシアをより深く知りたいと希望する皆さんに、インドネシアの地で、インドネシア語を現地の生活をじかに経験しながら習得していただき、併せてインドネシア文化をも学んでいただくとする趣旨に基づいて当社が企画したもので、これによって両国の友好交流関係促進と相互理解の基礎作りと真の国際人の養成に少しでも貢献することができれば、という願いのもとに始められたプログラムです。

新光オーエムシー株式会社  
代表取締役・公認会計士  
杉本 正実

## プログラムの内容と特長

- 1 1994年春の開始以来18年間に、延べ434名の方が本プログラムで学びました。
- 2 当プログラムは、単に語学を学ぶというだけにとどまらず、インドネシアの文化を学び、また現地での実生活を体験することによりトータルな形での異文化理解を目的としています。そのために、大学での講義のほかにも興味ある課外活動プログラムも組まれています。
- 3 研修地のマラン及びジョクジャカルタはインドネシアにおける二大文教都市として位置づけられており勉学には好適であるだけでなく、比較的治安も良く安全な都市といえます。また、研修機関はインドネシアでも伝統のある私立大学です。
- 4 インドネシア語は日本人にとって最も習得が容易な言語で(大学書林国際語学アカデミーの調査による)、初学者でも一カ月の集中的な研修によって十分日常的なコミュニケーションが可能なレベルに到達できます。
- 5 インドネシア語は若干の綴り字、言い回しの相違を除いてマレー語とほとんど同一と考えてよく、その意味でその適用範囲はインドネシア全土はもちろん、マレーシア、ブルネイ、シンガポールのマレー系国民にまで及びます。
- 6 現地での宿泊はホームステイを原則とします。ホスト・ファミリーは、大学側が一定の基準のもとに責任を持って選定した信頼できる家庭ばかりです。
- 7 生活面、その他クラスでの講義以外のあらゆる面で大学のそれぞれの担当者がサポート致します。また必要な場合には当社ジャカルタ・オフィスがバック・アップを行います。

# Program Matahari 2012 のご案内

## 1 研修機関 (参加者による選択)

マランクセスワラ大学 (東ジャワ マラン市)  
サナタ・ダルマ大学 (中部ジャワ ジョクジャカルタ市)

## 2 期 間

2012年8月24日より1ヵ月間

## 3 参加資格

大学生 (短期大学を含む)、大学院生及びそれらに準ずる方で当社が適格と認めた方。  
インドネシア語学習歴の有無は問いません。(P6.オプショナル・プログラムの項をご参照ください。)

## 4 研修費用

332,000円 (マランクセスワラ大学)  
312,000円 (サナタ・ダルマ大学)

### a.費用に含まれるもの

往復国際航空運賃  
日本の空港での空港使用料、Tax その他航空券購入に付随する料金  
授業料及び教材費  
ホームステイ費 (食事費用を含む)  
カリキュラムに含まれる課外活動諸費用  
各大学への入学手続等諸費用  
空港 (スラバヤ、ジョクジャカルタ) への送迎費用  
オリエンテーション費用

### b.費用に含まれないもの

日本国内交通費  
渡航手続諸費用: 旅券交付印紙・証紙代等  
海外旅行傷害保険: 各自でおかけいただきます。  
インドネシア入国 VISA 取得費用、インドネシアでの空港税及び関税、超過手荷物料金  
任意参加の課外活動費用 (例: 舞踊、パティック制作、ガムラン演奏、オプショナル・ツアー等)  
通学費  
滞在中純然たる個人行動により生じた費用: 土産品、個人旅行費、宿泊先以外での飲食費等

## 5 日本でのオリエンテーション

日時は未定ですが下記について、出発の1~2週間前に東京で行います。

- a)参加にあたっての注意事項
- b)研修内容及び現地での生活

## 6 申込締切日

2012年7月31日 (申込書必着。緊急の場合のみ暫定的にファックスでも受け付けますが、原本は後日必ず郵送してください。) 申込方法は次ページをご覧ください。

締切日前でも出発フライトが満席になった場合には申込受付を締め切りますので、お早めにお申込みください。その場合すでにお振込み頂いた金額は返却いたしません。  
なお、2012年6月21日までにファックスでお申込みいただいた場合で早割り航空料金の適用が可能な場合には、上記料金より17,000円引きの特別料金でお申込を受付けます。

## お申込み条件

### 1. 申込方法

別紙の研修申込用紙に必要事項を記入、1名につき申込金3万円を以下のいずれかの銀行（口座名義：新光オーエムシー(株)宛に振り込みの上、申込書、振込金額収書のコピーを当社宛ご郵送ください。申込金振込のみでは受け付けは完了しませんので、申込書は速やかにお送りください。

みずほ銀行	池袋支店	普通預金	口座番号 5563140
三菱東京UFJ銀行	新宿通支店	普通預金	口座番号 2815970
りそな銀行	かぐらぎか 神楽坂支店	普通預金	口座番号 1297064

注)：振込手数料は各自ご負担願います。なお、申込み時に費用全額を振り込まれても構いません。振込人名が申込人と異なる場合には振込金額収書控に申込人名を付記してください。

### 2. 研修費用残額のお支払い

研修費用から申込金を差し引いた残額は、2012年7月31日までに全額お振り込みください。

### 3. 取消料

参加者は、次に定める取消料をお支払い（既振込金額より充当）いただくことにより、いつでも研修の申込みを取り消すことができます。

2012年7月21日まで	申込金相当額
2012年7月22日～8月11日まで	参加費用の 50%
2012年8月12日以降	参加費用の100%

### 4. 渡航の予約、航空券の購入

参加者の渡航計画の統一的な管理と、出発当日のフライトの遅延、中止等のトラブルへの統一的対処の必要性から、研修に関わる航空便の予約、航空券の購入はすべて下記指定エージェントで行って頂きます。（他のエージェントによるものはお受けできませんのでご了承ください）

(株) 阪急阪神ビジネスホテル (担当：緒方、平尾) TEL 03-6745-7500 Fax 03-6745-7681

Eメール ogata@hhbt.co.jp

お申込み受付後に上記エージェントよりご連絡いたします。なお、インドネシア入国ビザの有効期限が30日以内のため、インドネシア入国日より30日を超えてインドネシアに滞在することはできません。

### 5. 研修内容変更・研修中止

研修機関・運輸機関のスケジュール、天災、ストライキ、その他不可抗力の事由、政府機関の指令、その他やむを得ない場合は、当研修の円滑な実施を図るため、研修日程の変更、研修内容の全部または一部の変更、中止をすることがあります。上記事由による研修の中止、日程変更により参加が不可能になった申込者の払込済みの研修費用については、当社事務手数料を差し引き残額を返却いたします。また、申込者の個人的事情で定められたスケジュールからはずれた場合、全ての費用はお返しできません。

### 6. 免責事項

当社は、参加者が以下の事由によって損害を受けられた場合においては賠償の責任は負いません。

- 1) 天災地変、戦乱、同盟罷業、不慮の災難、交通事故、政府公共団体の指令、暴動、空賊、盗賊、詐欺、疾病、隔離（流行病を含む）、税関規則などの不可抗力、その他やむを得ない事由。
- 2) 各種運輸、宿泊機関、研修大学など当社以外の責めにより生じた損害。
- 3) 運輸機関の遅延、不通またはこれらによって生ずる研修日程及び滞在期間の変更。
- 4) 参加者自身による故意または過失による損害。

## Program Matahari 2012 スケジュール

(表示の時間は現地時間、東京出発の例)

日次	場所等	時刻*1	摘要
出発日の 3~4週間前	東京	午前、 又は 午後	現地研修と生活に関する 国内オリエンテーション
8月24日(金)	日本発(マラン、ジョクジャカルタとも)	11:00	ガルダ イトネア航空で成田発
8月24日(金)	イトネア着(マラン、ジョクジャカルタとも)	17:30	デンパサール着(飛行機乗継)
8月24日(金)	(マラン) デンパサール発  スラバヤ着  マランへ	*2 19:45  19:40	スラバヤへ  空港に大学職員が出迎え、車でマランへ
8月24日(金)	(ジョクジャカルタ) デンパサール発 ジョクジャカルタ着	*2 19:20 19:35	ジョクジャカルタへ  空港に大学職員出迎え
8月24日(金) ↓ 9月17日(月)	マラン or ジョクジャカルタ		大学にてイトネア語及び文化研修、課外活動
9月18日(火) ↓ 9月21日(金)	自由  スラバヤ or ジョクジャカルタ 発 *2	20:25 or 20:20	現地研修終了後、21日のスラバヤ 又はジョクジャカルタから日本への 出発まで自由行動  スラバヤ又はジョクジャカルタからデンパ サール経由日本向け出発
9月22日(土)	日本	8:50	日本帰国

帰国前の自由行動の期間にバりに立ち寄りたい場合には帰りのデンパサールへの移動日を調整しますので、阪急阪神ビジネストラベル(連絡先は P.3)にお申し出ください。

- \*1 フライト時刻には今後若干の変更が生ずる場合がありますが、その場合にはオリエンテーションの際にお知らせします。
- \*2 日本とデンパサール(バリ島)、及びデンパサールとジョクジャカルタとの間にはそれぞれ時差があり時刻がそれぞれ1時間ずつ繰り上がります。

## 研修地及び研修機関の紹介

東ジャワ州の高原都市マランと、中部ジャワの古都ジョクジャカルタで開催いたします。両市はインドネシアにおける二大文教都市として位置づけられており、数多くの国立、私立大学が立地しています。

### (マラン市とマランクセスワラ大学)

人口 70 万人のマランはスラバヤに続く東ジャワ州第二の都市です。赤道直下の国インドネシアにありながら、標高 450m の地点にある高原都市マランには熱帯の暑さはありません。緑に囲まれた街なみは美しく、その清涼な気候とともに勉学には最適な環境を作り出しています。

一層充実した教育内容と環境を実現するため、2つの大学の協力体制のもとでの研修体制を組んでいます。まず研修の実施にはマラン国立大学の語学教育の専門教官が当研修のために特別チームを編成し、教育のみならずホームステイ、その他生活面のすべてにわたって責任を持って指導、お世話いたします。同大学は国立教育大学 (IKIP) を前身とするインドネシア語教育の専門高等教育機関でこれまでも多数の外国人留学生の教育にあたってきました。研修の場はマランクセスワラ大学のキャンパスにて行います。せせらぎのある自然環境の中に伝統的なジャワの雰囲気漂うたざまいのキャンパスでの研修は印象的なものとなるでしょう。

### (ジョクジャカルタ市とサナタ・ダルマ大学)

ジョクジャカルタは、中部ジャワのイスラム教国「ジョクジャカルタ王国」の首都で、王国は 1945 年のインドネシア独立の際に消滅し特別州としてインドネシア共和国に組み込まれましたが、今でも王宮に住むスリ・スルタン・ハメクブウォノ十世が州知事を務める歴史のある古都です。

当研修にあたるサナタ・ダルマ大学はインドネシア唯一の私立の教員養成機関として 1955 年に創立されたカトリック系の大学で、現在では 8 つの学部と大学院を併設する総合大学です。同大学の語学センターは 1992 年以来外国人のためのインドネシアと文化コースを開設し、これまで主に日本のほかにオーストラリア及び欧米からの研修生を受け入れてきました。

クラスルーム・レッスンのほか、課外授業には、ボロブドゥール、プランバナン寺院を含む歴史的な遺跡見学も含まれています。

両研修地とも研修の組み立てには大きな相違はなく、いずれもクラスルーム・レッスンのほかに郊外へのエクスカージョン等の課外活動がプログラムに含まれており、またバティック製作、舞踊、ガムラン音楽演奏等の文化活動への参加も可能です。また、いずれも、ピア・チューター制度<sup>1</sup>をとっています。

---

<sup>1</sup> 研修生と同年代の受入機関の大学生等のスタッフが、主に現地でのフィールド・スタディや日常生活でのアシスタントとして、研修生のお世話にあたる制度です。

## オプション・プログラムのご案内

当社では、大学の春休み、夏休みの期間に実施する1ヵ月間の定期プログラム（Bunga、Matahari）のほかに、次のような方々のためにこれとは別途、個別オプションによるプログラムの受付と設定を随時行っています。これは、参加希望者の個々のご希望をお聞きし、個別に内容・期間をアレンジする準オーダーメイド・プログラムです。参加費用は、期間・内容等に基づく個別見積りとなります。

- （1）社会人の方
- （2）長期の研修・留学を望まれる方（ビザ取得を含む入学までの一切の手続きを当社が行います。）
- （3）定期プログラムの期間以外の時期に研修を受けたい方
- （4）個人指導を希望される方
- （5）特別の内容に重点をおいた研修が希望の方